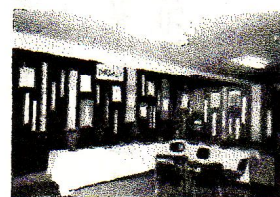


活動年表

- ・明治30年(1897)頃 西川西川(初蔵)、長谷川長江(知道)、星野孤松(由松)、泉田仙峯(金三郎)ら十余人で句会を開いた。
- ・大正4年(1915)頃 錦風会結成。名は勝峰錦風から採った。
- ・昭和6年(1931) 「錦風」1号発行
- ・同25年(1950) 「大野小唄」作詞
- ・同42年(1967) 第一回町民作品展覧会(文化祭の前身)参加
- ・同51年(1976) 「文月稻荷神社俳句額」解説・大野文化財保護研究会と共同
- ・同53年(1978) 大野町教育広報「おおの」に錦風会と会員の句が載る
- ・同54年(1979) 「錦風」400号記念句集(石山香甫発行、池田紫苑編集代表)発行及び祝賀会
- ・同58年(1983) 「錦風」450号記念句集(石山香甫)発行
- ・平成元年(1989) 「錦風」500号記念句集(山下刻舟)発行
- ・同3年(1991) 大野町教育広報「おおの」に、この年まで投句

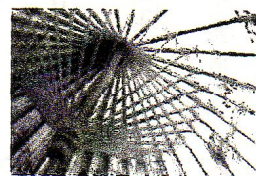


錦風会

—大野の俳壇—

明治20年(1887)ころ、道内俳句界の草分けとして知られる勝峰錦風の指導で、愛好家が俳句活動を始めた。

中でも雪中庵五更という提灯や唐傘の張り替えを業とする文筆に優れた「御師匠さん」がいて、発展の基礎を築いた。



◆問い合わせ；北斗市郷土資料館

041-1201 北斗市本町2丁目12番7号
(0138) 77-6681

2013年3月

大野文化財保護研究会 (文保研・ぶんぼけん)